

公益社団法人日本技術士会東北本部 岩手県支部事業活動報告

事業名	地質巡検（ILC 候補地の花崗岩を見る） (CPD 番号 No26-5)
委員会・研究会名	応用理学研究会
日時	平成 26 年 9 月 19 日（金）10：00～15：30
場所	岩手県奥州市～一関市
参加人数等	13 人

活 動 内 容

北上山地が、ILC（国際リニアコライダー）の候補地に決まったことから、候補地に分布する人首岩体、千厩岩体、折壁岩体のそれぞれ花崗岩の違いと、花崗岩の良好な岩盤状況を、岩手県政策地域部科学 ILC 推進室のご協力の下、ボーリングコアの観察と地質露頭で確かめてみようということと、ILC 候補地の全体を見渡せる阿原山、室根山から、特徴的な花崗岩地形を眺望してみようという目的で、地質巡検をおこなった。

巡検の行程は、候補地の北部の奥州市江刺区から、マイクロバス 1 台に参加者全員が乗り、候補地である、一関市千厩町、室根町、大東町の花崗岩分布地域を回った。

バスでの移動中には、岩手県政策地域部科学 ILC 推進室の長坂主任と前推進室勤務の大久保技術士から、ILC の具体的説明や、誘致運動、経過、現状等についての説明があり、ILC についての最新の情報や、具体的な知識を学ぶことができた。また、応用理学研究会の加藤技術士より、花崗岩類の基本的なことや、ILC 候補地に分布する、折壁、千厩、人首各花崗岩体のそれぞれの特徴について説明があった。

室根山、阿原山では ILC 候補地に計画される延長 30 k m 以上の加速器トンネルの概略方向に沿った、比較的緩やかな花崗岩地形を眺望するとともに、両山地部に分布する折壁花崗岩、人首花崗岩の露頭を観察した。

加えて、地域中心部（衝突点付近）の旧丑石小学校に保管されている、人首、千厩の花崗岩体の調査ボーリングのコアを観察し、それぞれの特徴を確認することができた。

朝の 10：00 出発、15：30 解散と移動距離が大きく、長時間の行程となり、改めて ILC 計画の規模の大きさを再認識した巡検で、今後 ILC 計画が推進することを参加者全員で改めて共感しあうことができたものと考えている。



丑石小学校でのコア観察
(大久保技術士の説明)



室根山山頂での参加者の集合写真

(※ 活動状況の写真を貼り付けてください。)